



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年8月12日

東

上場会社名 株式会社プラコー

上場取引所

コード番号 6347

URL <http://www.placo.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 黒澤 秀男

問合せ先責任者（役職名） 総務・経理部部长

（氏名） 山崎 正彦

（TEL）048-798-0222

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	485	△34.4	△50	—	△50	—	△52	—
27年3月期第1四半期	739	70.6	△31	—	△31	—	△33	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第1四半期	△1.93		—					
27年3月期第1四半期	△1.23		—					

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,178	15.9	345	15.9	—	—
27年3月期	2,343	16.8	394	16.8	—	—

（参考）自己資本 28年3月期第1四半期 345百万円 27年3月期 394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	1,680	△11.8	80	67.9	68	54.2	58	42.7	2.15	
通期	3,387	△2.2	152	264.3	128	78.7	109	108.4	4.03	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報（注記情報）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期1Q	27,152,585株	27年3月期	27,152,585株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	52,135株	27年3月期	52,135株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期1Q	27,100,450株	27年3月期1Q	27,102,282株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7
5. 補足情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府・日銀による経済対策を背景に、企業業績や雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調を維持しているものの、新興国経済の成長鈍化やギリシャ債務問題など国際的な不安要素もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の関係するプラスチック加工業界は、主要原料であるナフサ価格の上昇により、プラスチック原料価格の上昇の動きがあり、積極的な設備投資を展開するメーカーが存在する一方で、業界全体としては、長引く円安傾向に起因するプラスチック原料や原材料等の価格上昇分を製品価格へ転嫁することが困難なことから、設備投資意欲を押し下げる要因が存在しております。

このような状況下、営業面では、インフレーション成形機事業においては、多層機や巻取機の受注が順調に推移しました。ブロー成形機事業において、「樹脂タンク用小型ブロー成形機」の量産態勢が具体化してきた結果、複数の受注をいただき、全体でも前年同四半期を超える受注を達成しました。また、生産面では、海外生産を推進させるとともに、コストの低減や生産性の向上に努めましたが、大型機種の高品質に万全を期するため試作、開発費用などが増加しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、大型機の納入検収が第2四半期に集中していることから、当初の予定より減少し4億8千5百万円となり、前年同四半期と比べ2億5千4百万円減少(前年同四半期比34.4%減)いたしました。また、棚卸評価損の計上などにより、予定の利益を確保できませんでした。この結果、営業損失5千万円(前年同四半期は営業損失3千1百万円)、経常損失5千万円(前年同四半期は経常損失3千1百万円)、四半期純損失5千2百万円(前年同四半期は四半期純損失3千3百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前事業年度末に比べて11.6%減少し、1,465百万円となりました。これは主に、現金及び預金が364百万円、受取手形、売掛金及び電子記録債権が105百万円それぞれ減少しましたが、棚卸資産が205百万円、前渡金が57百万円それぞれ増加したことなどによりです。

固定資産は、前事業年度末に比べて3.9%増加し、713百万円となりました。これは主に、有形固定資産が新規取得などにより19百万円、ソフトウェアの新規取得が4百万円それぞれ増加したことなどによりです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて7.0%減少し、2,178百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて4.2%減少し、1,281百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が153百万円減少し、前受金が95百万円増加したことなどによりです。

固定負債は、前事業年度末に比べて9.9%減少し、550百万円となりました。これは主に、長期借入金62百万円減少したことなどによりです。

この結果、負債は前事業年度末に比べて6.0%減少し、1,832百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて12.3%減少し、345百万円となりました。これは主に、第1四半期純損失52百万円計上したことなどによりです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(原価差異の繰延処理)

従来、操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異については、四半期会計期間において繰延処理を採用していましたが、大型機械の受注の増加等による工期の長期化を主な要因として、年間を通じた操業度の平準化が図られ、四半期会計期間における原価差異の発生額の金額的重要性が乏しくなったことから、当第1四半期会計期間より原価差異の繰延処理を行わず、原則的処理を採用することといたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前四半期会計期間については遡及適用後の四半期財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期累計期間の、営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ537千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	896,238	531,490
受取手形及び売掛金	446,471	340,619
たな卸資産	273,184	478,457
その他	41,041	114,747
貸倒引当金	△89	△274
流動資産合計	1,656,846	1,465,039
固定資産		
有形固定資産		
土地	486,501	486,501
その他(純額)	151,010	170,153
有形固定資産合計	637,511	656,654
無形固定資産	13,054	17,349
投資その他の資産		
その他	50,061	52,887
貸倒引当金	△14,201	△13,746
投資その他の資産合計	35,859	39,141
固定資産合計	686,426	713,145
資産合計	2,343,272	2,178,185
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,356	502,150
短期借入金	285,054	279,756
前受金	283,723	379,453
未払法人税等	7,610	2,432
製品保証引当金	21,392	24,566
引当金	14,476	3,619
その他	70,257	89,523
流動負債合計	1,337,870	1,281,501
固定負債		
長期借入金	487,032	424,593
引当金	23,407	24,464
その他	100,516	101,709
固定負債合計	610,955	550,766
負債合計	1,948,825	1,832,267

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,193,611	△1,245,965
自己株式	△5,545	△5,545
株主資本合計	265,175	212,822
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,049	△1,224
土地再評価差額金	134,320	134,320
評価・換算差額等合計	129,270	133,095
純資産合計	394,446	345,917
負債純資産合計	2,343,272	2,178,185

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	739,658	485,286
売上原価	613,692	385,333
売上総利益	125,965	99,953
販売費及び一般管理費	157,708	150,199
営業損失(△)	△31,743	△50,245
営業外収益		
物品売却益	284	318
為替差益	9	1,741
受取保険料	3,762	-
その他	1,039	1,520
営業外収益合計	5,096	3,579
営業外費用		
支払利息	4,911	3,998
その他	263	253
営業外費用合計	5,175	4,252
経常損失(△)	△31,821	△50,918
特別損失		
固定資産除却損	0	6
特別損失合計	0	6
税引前四半期純損失(△)	△31,821	△50,925
法人税、住民税及び事業税	1,428	1,428
法人税等合計	1,428	1,428
四半期純損失(△)	△33,250	△52,353



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### (1) 生産、受注及び販売の状況

#### 1 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	191,710	△66.6
ブロー成形機事業	123,838	90.2
リサイクル装置事業	3,940	△58.8
合 計	319,488	△50.8

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	399,122	△1.0	780,654	△6.0
ブロー成形機事業	594,840	88.6	1,075,150	71.3
リサイクル装置事業	760	△97.5	40,580	△26.6
合 計	994,722	32.7	1,896,384	25.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 3 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	169,110	△71.1
ブロー成形機事業	212,710	461.1
リサイクル装置事業	3,940	△58.8
メンテナンス事業	99,526	△7.8
合 計	485,286	△34.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。